



吉 水

2月1日現在 <前月比>
 65歳以上男 1,586人<-4>
 65歳以上女 1,833人<+4>
 高齢化率 19.81%<-0.01>

発行 吉身学区社会福祉協議会

シリーズ

吉身学区の たからもの 【浮気自治会】

松明祭（浮気の火祭）

1月第2土曜日に行われる祭りで、町内や周辺の人々に五穀豊穡、無病息災の祈願が行われています。

今から800年前、土御門天皇(1199~1210)がご病気の折、病気の原因が淡海の三上山に棲む大ムカデ※の危害によるとされ、村人たちの願いを聞いた藤原秀郷(後の藤太)がこれを退治し、このとき大ムカデの頭が浮気の住吉神社に、胴体は物部の勝部神社に、尾は瀬田の大萱まで飛んだとされています。以来、村人たちが大ムカデに見立てた大松明を焼き払って天皇のご病氣平癒を祈ったのが始まりと伝えられています。※大蛇等諸説あり



納涼祭

浮気新団地公園および自治会館で行われる自治会内で最大の行事で、たくさんの模擬店の出店やイベントが行われます。

～吉身学区イベント・たからものマップより～

福祉協力員館外研修

2月8日(金)吉身学区福祉協力員等24名で、滋賀県立野洲養護学校を訪問しました。

野洲養護学校には、373名(内、守山市内からは、110名)の知的障がい、肢体不自由児童生徒が11台のバス等で通っています。

学校では、子どもたちの発達に即した教育が行われており、子どもたちの願いや思いを大切にしながら、一人ひとりの持てる力を最大限に伸ばし、心豊かにたくましく生きる子どもを育てることを教育方針に取り組んでおられました。

子どもたちの小さな反応に気づき、支援する先生方の責任感や難しさも感じながら、障がい児生徒みなさんの教育の理解を深める研修となりました。



第3次吉身学区福祉活動計画に着手

地域福祉推進員 馬場 春造

～みんなが手を取り 助け合う

心ぬくもる 地域の絆～

平成27年から4年間を計画期間とする第2次計画が今年3月を持って終了することになり、その2次計画の実施結果を踏まえ3次計画に着手しました。

基本目標【Ⅰ】 専門部会の強化と創意工夫

基本目標【Ⅱ】 2次計画の課題事業の推進

基本目標【Ⅲ】 第3次計画の重点課題

・助け愛よしみ活動の推進

・学区社協と自治会との連携強化

期間は2019年4月から5ヶ年



本計画推進のため、住民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。